

今回は加齢性(老人性)難聴について

加齢による難聴のことを加齢性(老人性)難聴といいます。誰にでも起こりえる現象です。本人も周囲も気づかないような軽いものから、大声で話さないと会話ができないようなものまで、時期やその程度には、個人差があります。

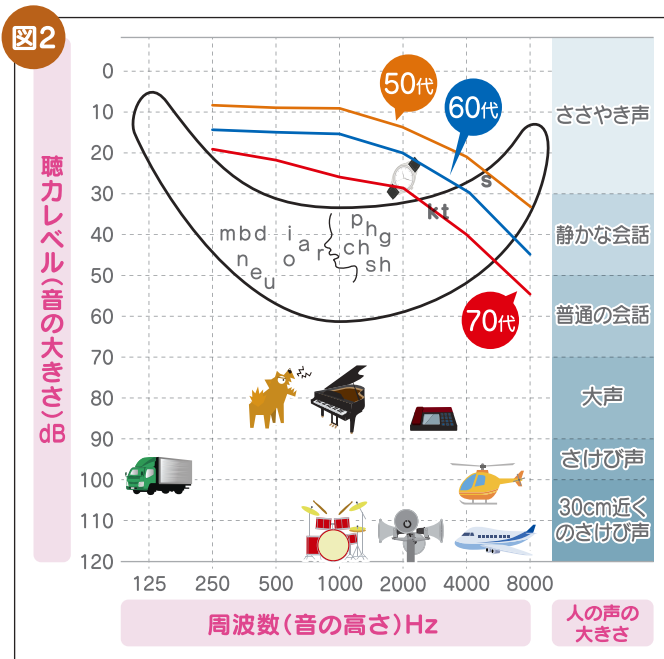
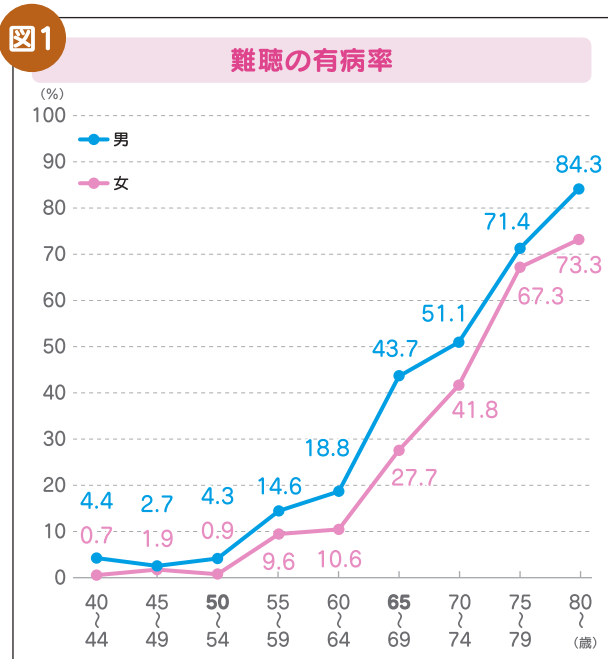


図1は日本人の難聴者の割合を示したグラフ(出典:内田育恵ら2012)です。50歳ごろから少しずつ増加し、65歳を過ぎると急激に増えていることがわかります。10年ほど前のデータですが、退職して、第二の人生を楽しみ始めた頃から増えていることがわかりますね。

加齢性難聴は、左右差がなく、高音域から聞こえにくくなるのが特徴です。年齢ごとの平均聴力の結果(出典:立木孝ら2003)を、スマイル通信2でもお示した聴力図に重ね合わせたものが図2です。50歳代をこえると、高い音(2000Hz以上)から聞こえにくくなるのがわかります。

図2に、3000Hzの30dB付近に“k”、“t”、4000Hzの25dB付近に“s”という文字が書いてあります。これは日常会話で、か行、た行、さ行の子音の聞き取りがだいたいこの位置ぐらいですよ、ということを示しています。つまり、聞こえが正常と思っていた人でも70歳代をこえると、か行、た行、さ行の言葉を中心に聞き取りが悪くなるのですが、この図を見るとわかると思います。“たかさきクリニック”が、“あああいうりニッウ”って聞こえている! ? かもしれません。

一般的に、加齢性難聴は治療が困難だといわれます。ただ、以前もこのスマイル通信でも書きましたが、難聴によるコミュニケーション不足は、高齢者の認知力の低下に深くかかわっていることがわかっています。日本人の平均寿命は毎年延びて、“人生100年時代”という言葉も最近耳にするようになってきました。そうすると、加齢性難聴に対する対策を含めた知識もさらに必要になってきます。

年をとったから聞こえなくなった、と諦めずに、その難聴の原因は？ 治る？ 治らない？ 治らないならどのようなことに気をつければよい？ 補聴器は必要？ など、このスマイル通信でも今後様々な情報をつたえていきますが、わからない事があったらお気軽にご相談ください。

2020年のスギ・ヒノキ花粉飛散予想は？

気象協会などの2020年の長崎県のスギ・ヒノキ花粉飛散予想では、2019年の梅雨が長かったことなどにより、花粉飛散は、例年より少ないと予想されています(この原稿を書いている時点では)。佐世保市は、例年2月上旬にはスギ花粉は飛散し、昨年の飛散開始日は2月4日でした。飛散数は少なくとも、毎年症状がある方は、飛散前からの対策が効果的です。早めの対策をお勧めします。

当院指定の駐車場に関して

当院指定駐車場は、当院横2台、吉田駐車場2,3,4,5,6,7,19,20,21番の9台、大野方向変換場駐車場(旧市営駐車場)1,2,4,5,14番の5台の合計16台分です。当院の看板を立てています。他の場所に駐車しないように、ご協力お願いします。

● アクセス



● 駐車場マップ



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～午後12:30 受付は午後12:15まで	☺	☺	☺	☺	☺	☺
午後2:30～午後6:00 受付は午後5:45まで	☺	☺	☺	☺	☺	☺

《日曜・祝日 休診》

〒857-0136 長崎県佐世保市田原町17-10

TEL.0956-76-7379 FAX.0956-76-7363

たかさきクリニック



<http://takasaki-clinic.org> HPはこちら→



当日の順番予約と
診察待合状況の
確認はこちらから→

